

雑誌「看板経営」に当社の紹介記事が掲載

サインディスプレイ業界の専門情報誌『看板経営』（2022年10月1日号）の「サイン事業を切り拓くプリントビジネスの新提案」特集に、当社の取組みに関する記事が掲載されました。



2021年8月に設置された幅広デジタル印刷機。同社の出力・生産量に応じて、顧客の要望に合わせた体制を整えた。「当社はこれまで足受った案件が中心で営業をセッターとしており、主な顧客も営業拠点のある都市部が中心でした」と和田山氏。しかし、ECサイトの構築によって、地方を含めた全国各地から広く新規案件を獲得できるようになったという。「ある意味、営業のDX化と言えるかもしれません」と語る。

同サイトの最大の利点は、Web上のカレンダー機能を用いたオンライン相談だ。好きな日程を選んで予約するだけで、発注している専門スタッフがZoom

での問い合わせに対応。細かい要望や不明点などを、遠隔からでもコミュニケーションを通して確認できる。たとえ足を運ばなくても、営業機会を失わずに営業しているという同社のスタイルは生き残っているのだ。

そして、増加したこれらの仕事を効率よく回すために、2020年2月には、エスコグラフィックス社の自動化ソフトウェア「Automation Engine」を導入。製作現場のDX化にも力を入れている。同製品は、顧客データや注文、納期といった基本データを管理するのにもあろ

ん、インク、印刷オプションなどを記録したり、品質管理、エラー検知を自動で行ったりする管理ソフトウェア。案件ひとつひとつをデータ管理できるようになったため、例えば、スケジュールの最適化やカットデータの取り違えなど、人的なケアレスミスが大幅に減ったという。

一般的な出力業務は、案件が多品種小ロットから多量にわたるものもある。それぞれの作業量も多く複雑化しやすいので、全てをハード面で一律にオートメーション化するのは難しい。し

特集 | サイン市場を切り拓くプリントビジネスの新提案

かし、その出力に至るまでの工程を自動化できれば、結果的な効率アップに大いに役立つ。加えて、製作現場が納期に追われて忙しんでいる状況を回避できるため、営業スタッフも追加で仕事を取ってきやすい雰囲気を生み、結果的に受注増加につながった。「同じ人員で、無理なく当社の売り上げをより大きく伸ばすためには、自動化ソフトの導入、ひいては現場のDX化は不可欠です」。導入当初はスタッフがソフトの操作に戸惑うケースこそあったものの、1年ほどを要すれば慣れもあって少しずつ改善。今では新人研修などで教える際にも手順が楽々、教育面の効率アップにも貢献している。

新たな業務となるサインとEC支援
出力会社の枠を超えたサービスに
 現場の自動化によって出力業務の生産性をさらに高めているビーアンドピー。しかし、同社の強みはそれだけではない。2019年からはデジタルサイネージ事業、2021年からはネットショップの運営代行やサイト制作支援を手がけるデジタルプロモーション事業と、時代のニーズに合わせた新規ビジネスに着手している。出力業務だけでは、いずれ

企業として持続性になってしまおうという、和田山氏の考えから、企業側の利益をより安定させるために、世の中に何を求めているのかを模索していった結果、この3つの柱が最適だという結論に至りました。

2019年に設立されたデジタルサイネージ事業部では、これまで培ってきた広告関連の知見を生かし、映像コンテンツを活用した空間演出を提案。店舗の商品陳列をひとつひとつにPRする「店舗」など、多様なコンテンツを用意し、ビーアンドピーのもともとの顧客で

あった内装業界や小売業などを主な対象に、デジタルサイネージ製品を提供している。

そして、特に新たな顧客開拓に役立っているのが、2021年から注力し始めたデジタルプロモーション事業だ。2020年頃からEC分野の重要性に着目し、事業化を目指した準備を開始。IT関連に強い企業とのセミナーに参加したり、社内でWebに造詣が深いスタッフを養成したりしながら、地盤を整えていった。まだ本格化させて1年足らずではあるものの、自社で運営しているインクイットの影響もあってか、問い合わせは増加傾向。「今後も引き続き、クライアントのマーケティングを手助けしていきたい」と、和田山氏も語る。

そのために、インクイットとのさらなる認知度アップを進めていきたいと展望を語る和田山氏。商品や取扱品目はもちろん、随時更新しているニュースページも徐々に増やしていき、業界の総合サイトとして発展させていきたいと意気込む。「世の中のニーズを敏感に察知し、いち早く対応できる企業となるべく、これからも挑戦し続けていきたいです」と意気切った。



8月にオープンしたECサイト「ink B（インクイット）」。店内外から店舗情報、小ロットから大量まで、出力物に関する注文をPC上の操作だけで発注できる

Corporate Information | **株式会社ビーアンドピー** | 本社所在地：大阪府大阪市東区江戸堀2-6-23 江戸堀アクトビル5F 5F
 創業：1985年10月
 社員数：183名（2022年10月現在、パート・アルバイト含む）

2022.10 | 看板経営 | 07

(C)看板経営

■製作現場と営業のDX化について

ECサイトの構築によって、地方を含めた全国各地から広く新規案件を獲得できるようECサイトを開設し、営業のDX化を実現。製作では自動化ソフトを導入し、効率化を進めている。

■デジタルサイネージ事業について

2019年から開始した新規事業。既存インクジェット事業の顧客である内装業界や小売業を対象にデジタルサイネージ製品を提供。映像コンテンツ制作から設置後の運用までトータルで提案している。

■デジタルプロモーション事業について

2021年から開始した新規事業。ネットショップの運営サポートや販促プロモーションのデジタル化支援を提供。SNSの活用やWEBキャンペーン企画など幅広いEC販促支援を提案している。

■本件に関するお問い合わせ先

株式会社ビーアンドピー デジタルプロモーション事業部 TEL: 03-3553-5558